"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyocho Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

２０２１年７月 ～ ２０２２年６月

国際会長主題	「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題	「100年を超えて変革しよう」
東日本区理事主題	「私たちは次の世代のために何ができるか？」
東新部部長主題	「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

会　長	土井　宏二
副 会 長	森本　晴生
直前会長	今井　武彦

書　記	今井　武彦
会　計	髙津　達夫
担当主事	山梨　雄一

２０２１年９月本例会（715回）

（ 強調月間：ＥＭＣ ）

今　月　の　聖　句

すべての人は食べ、飲み、あらゆる労苦の内に幸せを見出す。これこそ神の賜物。

（コヘレトの言葉 3－13）

All of us should eat and drink and enjoy what we have worked for. It is God's gift.

（Ecclesiastes 3－13）

９月 Zoom 本 例 会

日 時　2021年 9月 21日（火） 18：00～19：30

場 所　URLは16日頃、山梨主事より送信されます

９月　EMCについて

クラブ拡張・会員増強・維持啓発活動。

E:新クラブ設立、MC:新会員獲得・会員意識の高揚。ワイズメン運動の拡大強化、絶えざる課題として努力を続ける必要がある。"Change! 2022"もEMC活動の一環。2022年12月末まで、改めて頑張りましょう！

（神保　記）

HAPPY BIRTHDAY

9日 神保 伊和雄　　22日 今井 武彦

結婚記念日おめでとう

該当者なし

第25回 東新部部大会に出席しよう！！

日時：9月11日（土） 13:30 開会

場所：Zoomオンラインによる開催

９月Zoom本例会プログラム

	司 会　長谷川正雄
開会点鐘	会 長　土井　宏二
ワイズソング	一　同
ゲスト・ビジター紹介	司　会
今月の聖句・感謝	神保伊和雄
卓 話「東京YMCAの現況について」	
東京YMCA社会体育・保育専門学校主事	山梨　雄一
強調月間アッピール	神保伊和雄
ハッピーバースデー・結婚記念日	司　会
スマイル	今井　武彦
諸 報 告	
閉会挨拶	副会長　森本　晴生
閉会点鐘	会 長　土井　宏二

２０２１ 年 ８ 月 の 記 録（＊累計は期初からの24累計）

会員出席状況				メーキャップ記録	スマイル	25,000 円
正 会 員	11 名	出席(メネット)	0 名	7/27 7月第二例会	ＢＦポイント 現金累計	0 円
功労会員	1 名	出席(コメット)	0 名	城井、福島、森本	切手累計	
在籍者数	12 名	出席(ゲスト)	0 名	8/24 8月第二例会 野澤		
出席(正会員)	7 名	出席(ビジター)	0 名	4 名	リングプル 累 計	250.2 kg
出席(功労会員)	1 名	例会出席総数	8 名	8 月出席率 100 %	むかで基金 今月分	35,000 円

会費振込先　みずほ銀行　亀戸支店 （普通） ３０１３０７１　東京むかでワイズメンズクラブ

８ 月　本 例 会 報 告

8月本例会は17日（火）17：00より、東京YMCA社会体育・保育専門学校2階演習室で行われました。当初、コロナ禍を配慮し「Zoom」での予定が、メンバー3名から退会届が提出され、先の3名以外のメンバー出席で特別例会です。

【急遽リアル会場で行われることになった8月例会】

本年3月本例会の卓話で、櫻井啓子メネットが活動をされている『思い出のランドセルギフト』が紹介されました。

以来、総論賛成、各論については、具体的の進展ないままの状態が続きました。そのことが発端で、クラブ事業として進めるべき、とするメンバーとクラブ内でのボタンの掛け違い？や、諸事情が重なり、8月8日に会長宛て、3名の退会届が提出され、現在会長預かりの状況下にあります。

緊急事態宣言下、会場提供、設営いただいた山梨雄一主事、又、本例会を提案し、運営に当たられたクラブ内の皆さんの労に感謝致します。司会は神保伊和雄君、土井宏二会長による開会点鐘、ワイズソングと続き、聖句と感謝は髙津達夫君が行いました。コロナ禍で食事なし、併せて例会時間の短縮に配慮されました。変更のブリテントップには、予定の卓話タイトルに代わって、「確認と対策」の文字からは緊急性が観え、裏面には、4月から現在までのこの件に関するクラブ運営メモが添えられています。

司会者から経過が改めて説明され、自由発言を原則に各自の想いが述べられました。もっとも7月24日（土）東新部評議会以降、この日でこの件に関し、4回の協議の場が持たれ、意見交換を重ね、その場に相応しい方が、退会届提出者の想いと、クラブの想いを伝える事がなされました。

「総論は賛成、各論は検討不十分」がこの日も残されましたが、総意で3名のメンバーに8月24日（火）第二例会に出席いただき、最終方向を見出す輪に加わって頂くこととし、この日の報告と出席案内を会長が行うことになりました。

強調月間アッピールは髙津君が担当、ハッピーバースデーは髙津君、土井会長、長谷川正雄君でした。スマイルは今井武彦君、予定時間の18：30を回ったところで、森本晴生君に代わって神保君が閉会の挨拶、土井会長による閉会点鐘で8月本例会を閉じました。　　（長谷川　記）

出席者：土井、伊丹、今井、櫻井、神保、髙津、長谷川、山梨

コロナ禍の東京ＹＭＣＡから

東京YMCAは2021年度の運営基本方針として、下記項目を掲げ、新年度をスタートしました。同基本方針をもとに事業ごと感染症対策も十分に取り、運営を進めています。

▽ コロナ危機が長引き、差別や偏見、格差や貧困など、様々な困難が増大する社会において、人々が真に求める安全で安心できる生活に対応した、新しい東京YMCAの姿を明確にして、抜本的な改革と新規事業の開発を行う。

▽ YMCAの運動、活動、事業ならびに組織、雇用、財政危機管理を、劇的に変化する市民社会に合わせて再構築する。

▽ 東京YMCAグループに連なるすべての会員・職員・ボランティアが一体となって、分かり易い団体、人々に必要とされなくてはならない、選ばれる存在となるべくYMCAブランドを明確にして積極的に発信する。

▼ **ウエルネス・野外事業部** に属するウエルネス事業（東陽町、山手、江東）、また野外教育（山手、南、西東京、江東、東陽町、東雲）、そして野外センター（山中湖センター、野尻キャンプ、高尾の森わくわくビレッジ）、社会体育・保育専門学校、オルタナティブ事業（高等学院、liby、PIT国立、PIT山手）は新たな事業スタイルを模索しつつ、2022年度事業部再編へ準備を進めています。

▼ **社会体育・保育専門学校** では、260名程の学生が将来の指導者を目指し、学修を続けています。コロナ禍で行事等は延期、中止が続いていましたが、今夏、学生55名、教員10名で7月7日～7月10日まで、体育科伝統の野尻キャンプ実習を2年ぶりに実施しました。

【左＝野尻湖ミニホッパー、右＝浮桟橋で仲間との時間】

野尻キャンプでは、ホッパー、カヤック、カヌー、カッターに加え、筏作り【写真下＝創意工夫の結晶】など、学生達には見るもの全てが初めての体験的な学びに加え、YMCAならではのグループワークを中心とした小集団活動を3泊4日で行いました。学生達は虫が苦手、お風呂に入りたい、湖で泳ぐのは

ちょっと・・・と参加前には少々否定的な気持ちを抱いていた様子でしたが、最終日には「来ることが出来て良かった」「まだ帰りたくない」「一生の仲間がまた増えた」など充実感に溢れた学生達の表情がとても印象的でした。

自然環境に身を置くことで、コロナ禍を一瞬でも忘れさせてくれる良き心のリフレッシュともなった様に思います。

▼ **パラリンピック** では、自主参加ですが、70名程の学生が水泳競技のサポートとして参加をしています。このことは、各連盟等々との強固な信頼関係によって実現されていると言えるのではないでしょうか。学生にとっても一生に一度かもしれない体験がまさしく今、行われています。

【ジャパンパラ水泳競技大会 運営サポート】

▼ **野外教育事業** においては、今夏、宿泊型キャンプを計画、ボランティアの学生も事前にトレーニングやオンラインでリーダー会などで準備を進めていましたが、緊急事態宣言の発出、延長を受けて止む無く中止となりました。

しかしながら、子供達の居場所確保や、この年齢期でしかできない経験をさせたいという保護者の方々からの強い要望もあり、日帰りでの野外活動を、高尾の森わくわくビレッジ、山手センターで「ちびっこクラブ」や「わくわくデイキャンプ（クラフト編、欲張り編、火の達人編）」を、幼児から小学生を対象としてそれぞれ実施しました。

▼ **ＹＭＣＡ** はいつの時代も誰でも通える、集える、誰もが支える、青少年の為の社会教育団体でもあります。新しい日常を創造し、安全で安心な環境作り、地域作りに今後も推進していければと思います。　（山梨 記）

会　長　通　信

コロナ禍でキャンプがブームになっていますが、テント泊、飯盒、BBQ、焚火等が多く語られています。私達の言うキャンプは少し意味合いが違います。組織的に集団生活を通じ、仲間を想い労わり、共同活動を楽しみ、学び、成長していくことが目的の組織キャンプです。東京むかでクラブが応援している野尻学荘はそのようなキャンプです。

私が通っていた市川の「日の出学園小学部」は、4年生になると夏の1か月間は軽井沢山荘での生活。4年、5年、6年生約200名の集団生活でした。当時は宅急便等なく、最寄りの国鉄駅に行き、1か月分の荷物をチッキで送り、山荘で受け取りました。お米の券を持って行った記憶があります。

上野駅から出発、横川駅からアプト式の機関車で軽井沢に着き、そこから追分まで歩いて山荘に向かいました。午前中は普通の授業、午後から作業訓練で運動場を開墾したり、山道を整備したり、苦しかったですが、今となっては楽しい、懐かしい思い出です。1か月間は先生、生徒だけの生活で初めての組織キャンプでした。

その後、野尻学荘でのボーイズ、リーダー、リタイヤー後のあゆみキャンプ、清里でのポールラッシュ祭りの準備キャンプ等、色々経験させてもらいました。キャンプファイヤーを囲み、肩を抱き合い乍ら未来を語り合い、キャンプソングを唄い、時には仲間の話に涙を流し、友情の灯を分かち合いました。

むかでクラブも12人になりましたが、もう一度少年時代に感動した事を思い出し、友情の輪を広げようではありませんか。シニア Y・Y・Y キャンプも組織キャンプの一つだと思います。

昔、山手YMCAでデューイを学ぶ会があり出席したのですが、キャンプを通じて成長する、成長する人こそ幸せ者であると習ったことを思い出しました。組織キャンプと成長、成長することは何かを乗り越えなくてはならない。今回も会員減を乗り越えて、むかでクラブ全員が成長し、皆幸せ者になり楽しい会になる事を願っています。（土井 記）

＜９月の予定 ＞

7日（火） **東京むかで**・ブリテン印刷は編集者が行う
7日（火） 東京多摩みなみ・9月本例会 （Zoom）
9日（木） 東京センテニアル・9月本例会
11日（土） 東新部・部大会 13:30～（Zoom）
11-12日（土・日） ユースボランティア・リーダーズフォーラム （Zoom）
13日（月） 東京町田コスモス・9月本例会 （ハイブリッド）
14日（火） 東京・9月本例会 （ハイブリッド）
15日（水） 東京町田スマイリング・9月本例会 （Zoom）
17日（金） 東京世田谷・9月本例会 （ハイブリッド）
19日（日） ワイズ・ナイトフォーラム 20:00～（Zoom）
21日（火） **東京むかで**・9月本例会 18:00～（Zoom）
28日（火） **東京むかで**・第二例会 18:00～（Zoom）

＜１０月以降の予定 ＞

5日（火） **東京むかで**・ブリテン印刷会（16:00～）
19日（火） **東京むかで**・10月本例会（18:00～20:00）
26日（火） **東京むかで**・第二例会（18:00～20:00）

８月 第 二 例 会 報 告

8月第二例会は、山梨雄一主事の労でハイブリッド方式に変更、東京YMCA社体専2階講習室で、8月本例会の課題について協議のため、8月24日（火）17:00より1時間の予定で開催。協議内容は以下の通り。

1．9月号ブリテン編集方針など要領確認。

①ブリテン作成、併せて印刷、発送作業とも長谷川君が担当。7日（火）予定の印刷会は中止。原稿締切31日。
②9月本例会はZoom方式とし、卓話は8月本例会予定の山梨主事に再度お願いする。

2. 本題、3名の退会届の協儀。（退会届提出者で城井廣邦君は出席、伊阪哲雄君、鈴木健彦君は欠席）
①冒頭、会長よりメンバーの総意として「思い出のランドセルギフト」には賛同、城井君のスピードに反応の不確かさもあったが、各自が全てを飲み込んで再出発としたい、との呼びかけに、城井君からは、皆様の総意であれば退会届を撤回したい、との申し出があり、併せて陳謝され、一同歓迎の拍手で応えた。【写真上＝土井会長と城井君が固い握手】

②欠席された二人の方々は、事前の話し合い内容、現在の諸事情を熟慮し、退会届を受理する。
③各方面へ「挨拶と陳謝」などの対応と担当者確認。
a　土井会長、今井直前会長の対応先
・松香光夫東新部部長、権藤徳彦同書記
・DBCトライアングル締結の2クラブ
・退会確定者2名の区、部への手続き
b　城井君の対応先
・東日本区文献・組織検討委員会

3. 当クラブ書記は鈴木君に代わって今井君が担当。
4. クラブの会計検討委員会を開き、検討に入る。

出席者：土井、伊丹、今井、櫻井（Zoom）、城井、神保
野澤（Zoom）、長谷川、福島、山梨　（長谷川記）

東京ＹＭＣＡニュース

▼ コロナ禍の厳しい社会状況が続く中、東陽町コミュニティーセンターで第6回平和展『長崎原爆被災写真パネル展』を開催した。平和と命の大切さを訴えるため、毎年開催され、これまでは広島の被災状況や子供達の絵画を展示してきたが、6回目の今回は長崎原爆資料館からお借りした写真41点を展示した。

▼ しののめYMCAこども園は初の試み『みらいをまもろうSDGsチャリティーマルシェ＠しののめYMCAこども園』を開催した。「こどもコーナー」、「SDGsクイズ」コーナー、「牛乳パックecoジオラマ展示」等、楽しみ乍ら環境や貧困を考えるブースを設置した他、フードパントリーの為の食品寄付や、カンボジアへの制服寄付を呼びかけるブースも用意し、園児と保護者に好評であった。

多数の企業から物品の寄付を頂いた他、保護者会「おひさま会」、「東京ベイサイドワイズメンズクラブ」に協力頂いた。

▼ 例年9月に実施している障害児+支援を目的とした駅伝大会『東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン』は、35回目の今年も新型コロナ感染拡大防止のため、それぞれの場で歩数カウントするウォーキング大会として開催することとしました。　（山梨 記）

８ 月 会 計 報 告・他

1　月間収入・支出合計　期間　8/1～8/31

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	200,000円	251,276円
活動基金部	35,000円	50,000円

経常収入項目：会費6名
経常支出項目：通信費　区費　部費　施設等使用料
活動基金収入項目：スマイル　寄付
活動基金支出項目：野尻キャンプ献金　（髙津 記）

2　リングプル　8月預かりなし

今月も報告がありません。みんなジュースを！ビールを！飲まなくなったのかなー？おかしいなあ！
この暑さ夏に！もう少し我慢しましょう！

ところで、【リングプルの歴史】は2000年に北海道江別市野幌商店街の商店主たちが結成したのが始まり。活動には、全道各地の個人や学校、福祉団体、企業など400余の組織が参加し、約30トンのプルタブを回収。車椅子16台に生まれ変わったと北海道新聞の2001年5月13日付に報じられています。

ランドセルも2004年から化学メーカーのクラレから始まり、JOICFP（ジョイセフ）と輪が広がり、いよいよワイズメンズクラブが参加、アフガニスタンの“タリバン”と“イスラム国”の紛争!？! 使用済みランドセル集めの仕組みづくり、息の長い活動への取り組みを検討スタートさせましょう。

コロナのせいで、キャンプがない、みんなで食事はない。勿論集まって歌を唄ったり、賑やかにできない。世の中悪い方向に動かされているような気がする。

Zoom による例会。やはり慣れない為か、意思の疎通がとりにくく困ってしまう！　（神保 記）

編　集　後　記

先日、見覚えのあるタッチの絵手紙が届きました。数年前奥様を亡くされ、病院、リハビリ介護施設と自宅を行き来される、画家顔負けの画力の持主。仕事上の先輩で、50年を超えるお付き合い、変わらない達筆の文面には体調が悪く、家に帰れるかどうか？とあります。

ベッドで描かれたと云う、やや抽象化された額紫陽花からは、見事に生命力が溢れ、香りすら伝わる様です。

このところ疲れ気味の我が書斎に涼風が流れ込み、直筆の小さな葉書の画面に背中を押されている夏です。
コロナと残暑、皆様くれぐれもご自愛下さい。（長谷川 記）